

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2			
授業形態	講義及び実習							
選んで ほしい生徒	1年次生全員（必履修）							
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。							
身に付けて ほしい学力	1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と、それに係る技能。 2 生涯を見通して課題を解決する力。 3 様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度。							
学習計画	単元・教材	学習のあらまし						
	【1学期】 1 学校家庭クラブ活動 2 これからの生き方と家族 3 衣生活をつくる 4 住生活をつくる 5 ホームプロジェクト 【2学期】 6 食生活をつくる 7 経済生活をつくる 【3学期】 8 次世代をはぐくむ 9 充実した生涯へ 10 ともに生きる	・家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関わる基礎的理解とそれに係る技能について、講義や実践的・体験的な学習を通して学ぶ。 ・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の実践により、主体的に家庭生活と地域の生活を改善充実しようとする態度を身に付ける。						
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	・生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けています。	・生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けています。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとも、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。					
上記の観点を踏まえ、定期考查、授業や実習への取組、家庭科ノート、調理実習ノート、課題、提出物等を総合的に判断して評価を行う。								
学習の アドバイス	1 授業を大切にする。 ・静かに聞き、授業に集中する。実践的・体験的な学習活動に積極的に取り組む。 ・プリントにしっかり記入し、指定されたページに貼る。 ・忘れ物をしない。 ・提出物は必ず期限を守る。 2 学習した内容を、家庭で実践してみる。							
	教材費 副教材費 約 550 円 実習費 1,300 円							
その他	特になし							

教科名	家庭	科目名	保育基礎	単位数	4			
授業形態	講義及び実習							
選んで ほしい生徒	子どもの発達・発育に興味があり、保育に関する専門的な学習をしたり、保育検定に取り組んだりすることにより、実践的に学びたいと考えている人。							
科目の目標	保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深め、地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成する。							
身に付けて ほしい学力	1 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術。 2 子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。 3 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度。							
学習計画	単元・教材	学習のあらまし						
	【1学期】 1 子供の保育 2 子供の生活 ※ 保育技術検定4級	・保育の必要性や意義、方法について学ぶ。 ・子供の発達の特性や過程、基礎的な保育の技術について学ぶ。						
	【2学期】 3 子供の生活と養護 4 子供の文化 ※ 保育技術検定3級	・子供の生活と養護、健康的な生活を支える保育技術について学ぶ。 ・子供の文化、遊びと表現活動について学ぶ。						
評価の観点・ 評価方法	【3学期】 5 子供の福祉	・子供の福祉の理念や制度、施設などについて学ぶ。						
	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
学習の アドバイス	・保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けています。	・子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。					
	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。							
教材費	実習費 3,000 円							
その他	保育技術検定4級、3級（3種目）の合格を目指します。							

教科名	家庭	科目名	ファッショントピカル造形基礎	単位数	4		
授業形態	被服製作実習及び講義						
選んでほしい生徒	服飾関係への進学・就職を考えている人や、被服製作に関して興味・関心があり知識や技術を身に付けたいと思っている人など。						
科目的目標	被服の構成、被服材料の選択、洋服や和服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ファッショントピカルを造形するための資質・能力を育成する。						
身に付けてほしい学力	1 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術。 2 被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。 3 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッショントピカルの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度。						
学習計画	単元・教材 【1学期】 1 被服の構成 2 被服材料 (実習1) ミシン縫いと手縫いの基礎 3 洋服の製作 (実習2) オーバーオールの製作 【2学期】 3 洋服の製作 (実習3) シャツ・ブラウスの製作 4 和服の製作 (実習4) じんべいの製作 【3学期】 4 和服の製作 (実習4) じんべいの製作		学習のあらまし <ul style="list-style-type: none"> 被服の構成、被服材料について学習し、実習を通して基本的な縫い方を身につけ、被服製作技術検定4級の合格を目指す。 洋服の製作の基礎を学び、オーバーオールの製作を行う。被服製作技術検定3級の合格を目指す。 シャツ・ブラウスの製作を行う。被服製作技術検定2級(洋服)の合格を目指す。 和服の製作の基礎を学び、じんべいの製作を行う。被服製作技術検定2級(和服)の合格を目指す。 				
評価の観点・評価方法	知識・技術 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けています。		思考・判断・表現 被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けています。		主体的に学習に取り組む態度 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッショントピカルの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
学習のアドバイス	上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。						
教材費	実習費 7,000円						
その他	被服製作技術検定4、3、2級(和服・洋服)の合格を目指します。						

教科名	家庭	科目名	フードデザイン（2年次）【4単位】
授業形態	講義形式 + 実習		
選んで ほしい生徒	食生活に興味を持っている人、また、将来、食に関する職業に就きたいと考えている人で専門的な知識や技術を学習したいと思っている生徒。検定合格を目指して、一生懸命に取り組める生徒。		
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。		
身に付けて ほしい学力	1 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付ける。 2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身に付ける。 3 食物調理技術検定の4級・3級を取得する。		
学習計画	単元・教材	学習のあらまし	
評価の観点・評価の方法	【1学期】 1 食生活と健康 2 栄養素のはたらきと食事計画 3 食物調理技術検定4級	健康と食生活、フードデザインの構成要素、フードデザイン実習、食育と食育推進活動などについて学び、これらをとおして、食に関する基礎的な知識と技術を家庭基礎で学習した内容をふまえながらさらに深めていく。	
	【2学期】 4 食品の特徴・表示・安全		
	【3学期】 5 調理の基本 6 料理様式とテーブルコーディネート 7 食育		
	【年間】調理実習		
学習のアドバイス	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けている。	・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。
上記の観点を踏まえ、定期考查、実習、提出物、課題、授業態度、検定を総合的に判断して評価する。			
1 授業を大切にする。 ・学ぶ姿勢。 ・提出物の徹底。 2 基礎的技術を習得する意欲を持って調理実習に取り組む。 ・準備物の徹底(エプロン、三角巾) ・調理器具の正しい扱い方を身に付ける。 ・分量の正しい計測を行う。 ・安全に留意する。 ・検定合格を目指す。 3 学習した内容を、家庭で実践してみる。			
教材費	実習費 10,000円		
その他	エプロン、三角巾、マスクの準備		

教科名	家庭	科目名	子ども文化（3年次）【2単位】
授業形態	講義形式+実習		
選んでほしい生徒	子ども文化に興味があり、保育に関する専門的なことがらを学習したり、保育検定に取り組んだりすることにより、実践的に学びたいと考えている人。		
科目の目標	子供と遊び、子供の表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得し、子ども文化の充実を図る能力と態度を身に付ける。		
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> 子供の遊びや表現活動、児童文化財などの重要性について理解する。 子供に豊かで健康的な文化環境を与えることに関心を持ち、積極的に子供とかかわることができる能力を身に付ける。 		
学習計画	単元・教材		学習のあらまし
	<p>【1学期】</p> 1 子供と遊び 2 子供と表現活動 3 子供と文学 ※保育技術検定 (造形表現、家庭看護) 2級 ※保育技術検定 (音楽リズム表現、言語活動 希望者)		子供の遊びと発達、遊びの現状、遊びと遊具・玩具、遊びと伝承について学ぶ。 子供の発達と造る・描く活動について学ぶ。 「歌う・踊る・演奏する」を通して、子供の身体表現や音楽環境などについて学ぶ。 絵本や児童文学について学ぶ。 保育検定を受検する。
	6 子ども文化実習 <p>【2学期】</p> 2 子供と表現活動 ※保育技術検定(造形表現、家庭看護) 1級 3 子供と文学 5 子ども文化を支える場		保育検定を受検する。 交流体験をする。 子供の発達と造る・描く活動について学ぶ。 保育検定を受検する。 絵本や児童文学について学ぶ。
	<p>【3学期】</p> 4 現代の子供の生活と文化		現代の情報手段や年中行事と子供とのかかわりについて学ぶ。
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能
	<ul style="list-style-type: none"> 子供と遊び、子供の表現活動、児童文化財などについて関心を持ち、子ども文化の充実を図ろうとする意欲と態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供と遊び、子供の表現活動、児童文化財などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、工夫し表現する創造的な能力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供との交流体験などにおいて、積極的に子供とかかわることができる。 子供の表現活動において、児童文化財等の製作ができる。
上記の観点を踏まえ、定期考查、実習作品、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 普段から子供に関心を持ち、自然や児童文化財に触れ、感性を磨いていこう。 2 児童文化施設等におけるボランティア活動に積極的に参加するなど、地域の子供と触れ合う機会を持つようにしよう。 3 保育検定合格に向けて積極的に取り組み、表現技術を身に付けていこう。		
教材費	実習費 4,000円		
その他	特になし		

教科名	家庭	科目名	ファッショントピカル（3年次）【4単位】			
授業形態	実習（被服製作）及び講義					
選んでほしい生徒	服飾関係への進学・就職を考えている人や、被服製作に関して興味・関心があり、知識や技術を身に付けたいと思っている人。ファッショントピカル基礎を履修している生徒が望ましい。					
科目の目標	被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得し、ファッショントピカル製品を創造的に製作する能力と態度を身に付ける。					
身に付けてほしい学力	ファッショントピカルに必要な基礎的・基本的な知識と技術と、洋服や和服について、製作に関する理論と技術を踏まえつつ、計画に従って能率的に製作を行う力。		学習のあらまし			
学習計画	<p>【1学期】 和服の製作 (実習1) ひとえ長着の製作</p> <p>【2学期】 洋服の製作 (実習2) ジャケットの製作</p> <p>【3学期】 (実習2) ジャケットの製作 ・着装</p>		<ul style="list-style-type: none"> 和服製作に関する基礎的な知識を身に付け、和服を製作し、被服製作技術検定（和服）1級の取得を目指す。 裏付きジャケットの製作を行い、被服製作技術検定（洋服）1級の取得を目指す。 着用目的と場所にふさわしい着装ができるようになる。 			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
	<ul style="list-style-type: none"> 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などについて関心を持ち、被服を創造的に製作する意欲と実践的な態度を身に付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などについて思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴及び被服製作に関する技術を身に付け、計画的・能率的かつ創造的に被服製作ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴及び被服製作に関する知識を身に付けています。 		
	上記の観点を踏まえ、定期考查、授業・実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 和服や洋服など、衣服について興味を持つようにしましょう。 被服製作に必要な道具をそろえて、使えるようにしておきましょう。 ファッショントピカル基礎に続いて選択する科目のため、製作の内容が高度になります。根気強く製作し、完成させる強い意志と意欲を持って取り組みましょう。 					
教材費	実習費 5,000円					
その他	被服製作技術検定1級（和服・洋服）の合格を目指します。					

教科名	家庭	科目名	ファッショントレーニング（3年次）【2単位】			
授業形態	講義形式+実習（服飾・デザイン画などの作品製作）					
選んでほしい生徒	服のデザインに興味があって、服のデザインや色彩について勉強したり、デザイン画や服飾作品を制作したりしてみたいと思っている人					
科目の目標	ファッショントレーニングの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファンションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。					
身に付けてほしい学力	1 ファッショントレーニングの意味や基礎理論を知る。 2 発想や表現を学び、ファッショントレーニングを創造する能力を伸ばす。 3 ファッショントレーニング産業の中で商品としてのファッショントレーニングを企画する能力を身に付ける。					
学習計画	単元・教材		学習のあらまし			
	【1学期】 1 ファッショントレーニングの意味 3 ファッショントレーニングの発想と表現		・デザインとは何か、デザインの背景、服飾美とその要素について学び、ファンションの発想をデザイン画やピントワークで表現する。各種コンクールにも応募する。			
	【2学期】 2 ファッショントレーニングの基礎 4 デザインの目的と発想		・形態、色彩、文様、テクスチャーについて学び、目的と条件を満たしたファンションをデザインする。			
評価の観点・評価方法	【3学期】 5 ファッショントレーニング産業		・ファンション産業の仕組みについて学び、商品企画シミュレーションなどを実践する。			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
	・ファンショントレーニングと基礎、発想と表現法、商品企画などに関する興味を持ち、ファンションを創造的にデザインすることを目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けています。	・ファンションを美しくかつ創造的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	・ファンショントレーニングの基礎、発想と表現法、商品企画などに関する技術を身につけ、体験的な学習を通して、ファンション画などで表現したり商品企画をしたりすることができます。	・ファンショントレーニングの基礎、発想と表現法、商品企画などに関する知識を身につけ、ファンション産業の社会的な意義や役割について理解している。		
上記の観点を踏まえ、定期考査、実習作品、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。						
学習のアドバイス	1 日常生活においても美的な体験やデザインに興味を持ち、作品の発想や表現に生かそう。 2 基礎デザイン演習では繰り返し練習し、技能を身に付けよう。 3 作品制作では発想をふくらませ、テーマや思いを表現しよう。 4 定期考査では教科書を中心に理論的なことが出題されるから、繰り返し復習し、理解しよう。					
教材費	実習費 4,000 円					
その他	「ファンション造形基礎」「ファンション造形」「総合研究（被服）」と関連した学習ができる。					

教科名	家庭	科目名	服飾手芸（3年次）【3単位】			
授業形態	実習（編物や刺しゅうなど作品の製作）及び 講義					
選んでほしい生徒	手芸に興味があり、根気強く実習を続けることができる人					
科目の目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術と、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を身に付ける。					
身に付けてほしい学力	1 手芸の歴史や種類を知る。 2 編物、刺しゅう、染色、パッチワークの基礎的な技術を身に付ける。 3 技術を活用して、作品を製作することができるようになる。					
学習計画	単元・教材		学習のあらまし			
	【1学期】 ・手芸の種類と変遷について ・刺し子、刺しゅうの基礎		・世界の手芸について、その種類や歴史について学習する。 ・刺し子、刺しゅうの基礎的なステッチを身に付ける。			
	【2学期】 ・染色の基礎 ・パッチワークの基礎		・簡単に染められる染料を使った染色実習をする。 ・パッチワークの基礎を身に付ける。			
	【3学期】 ・編物の基礎（かぎ針編み）		・編物の基礎を身に付け、作品を制作する。			
評価の観点・評価の方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
	・製作計画を立て 目的に応じた作品づくりに意欲的に取り組んでいる。	・各種手芸の技法を活用して、創造力を働かせて手芸作品を製作し、実際に生かすことができる。	・刺し子・刺しゅう、パッチワーク、染色、編物の技法などに関する技術を習得している。	・刺し子・刺しゅう、パッチワーク、染色、編物の技法などに関する知識を習得している。		
上記の観点を踏まえ、授業・実習への取組、実習作品、課題、定期考查等を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 基本を身に付けることがよい作品づくりにつながります。そのためには、繰り返し練習することが大切です。 2 日頃から、様々な手芸品に興味を持ち、作品製作に活用できる力を養っておきましょう。 3 丁寧に作品を作るよう心掛けましょう。 4 安全に十分留意しましょう。					
教材費	教材費 4,000 円					
その他	特記事項なし					

教科名	家庭	科目名	調理（3年次）【4単位】			
授業形態	講義+実習（調理実習・実験など）					
選んでほしい生徒	調理技術を高めるだけでなく、調理の理論や食事形式などに興味・関心があり、理解を深めたいと思っている人。					
科目の目標	様式別調理、集団調理などに関する知識と技術を習得させ、食生活の充実向上を図るとともに、創造的に調理する能力と態度を育てる。					
身につけてほしい学力	1 調理の理論について理解する。 2 和食・洋食・中華などの代表的な料理や集団給食、行事食などの実習を通して、調理に関する専門的な知識や技術を身に付ける。 3 食物技術検定1、2級の取得を目指す。					
学習計画	単元・教材	学習のあらまし				
	○講義 【1学期】 1 食の文化 2 調理の基本 3 技術検定2級 【2学期】 4 調理の種類と献立 (1) 日常食 (2) 日本料理 (3) 西洋料理 (4) 中国料理 (5) 行事食・供應食 5 調理技術検定1級 【3学期】 6 大量調理 ○調理実習 年間約20回	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の目的や調理の種類、基本操作の方法と特徴、代表的な食品の特質などについて学習する。 ・代表的な料理の特徴と献立構成の基本について学習し、調理実習を通して、目的や条件に応じた調理ができるようになる。また、食事作法についても学び、適切に供することができるようになる。 ・目的や対象に応じた献立作成について、また集団調理の種類や特徴について学習する。 				
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
	<ul style="list-style-type: none"> ・様式別調理、集団調理などについて関心をもち、食生活の充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的に調理する実践的な態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の充実向上を図ることを目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、創意工夫する能力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様式別調理、集団調理などに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、食生活の充実向上を図るために、創造的に調理を計画・実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様式別調理、集団調理などに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、食生活の充実向上を図ることや創造的に調理することの意義を理解している。 		
上記の観点を踏まえ、定期考查、調理実習ノート、手順表、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。						
学習のアドバイス	1 講義で学習した内容を、実習を通して体験的に学習する形式となるので、授業で学んだことを、実習で積極的に生かしていく。 2 調理実習は、実習態度だけでなく、手順表や調理実習ノートの記入状況、服装なども評価するので、忘れ物のないように、また期日を守って提出しよう。					
教材費	実習費 10,000円					
その他	エプロン、三角巾、マスクの準備					